

令和2年度

一般B日程入学試験 学力特待生入学試験（B日程） 入学試験問題

日本史

注意事項

1. 願書提出時に、この試験科目の受験を申請していない人は受験できません。
2. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
3. 解答は解答用紙の解答欄にマークしなさい。
4. 解答用紙にある「マーク記入例」と「記入上の注意」をよく読みなさい。
5. この問題冊子は、13ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

九州女子大学
九州女子短期大学

I

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

律令政治が展開した8世紀には、農業にも進歩がみられ、1の農具が
いっそう普及した。生活では、竪穴住居にかわって平地式の掘立柱住居がしだいに普及した⁽¹⁾。家族のあり方は今日と違い、結婚は初め男性が女性の家に通う妻
問婚に始まり、夫婦としていずれかの父母のもとで生活し、やがてみずからの家
をもった。夫婦は結婚しても別姓のまま、また自分の財産をもっていた。律令
では中国の家父長制的な家族制度にならって父系の相続を重んじたが、一般民衆
の家族では、生業の分担や子どもの養育などの面で女性の発言力が強かったとみ
られる。

農民は、班給された口分田を耕作したほか、口分田以外の公の田⁽²⁾や寺社・貴族の土地を原則として1年のあいだ借り、収穫の5分の1を地子として政府や持
ち主におさめた⁽³⁾。農民には兵役のほか、2などの労役や運脚などの負担
があったため、生活に余裕はなかった。さらに、天候不順や虫害などに影響されて
飢饉もおこりやすく、国司・郡司らによる勸農政策があっても不安定な生活が
続いた。

政府は、人口増加による口分田の不足をおぎない税の増収をはかるため⁽⁴⁾、
723年には3を施行した。この法は、新たに灌漑施設を設けて未開地を開
墾した場合は三世にわたり、旧来の灌漑施設を利用して開墾した場合は本人一代
のあいだ田地の保有を認めるというもので、民間の開墾による耕地の拡大をはか
るものであった。743年には政府は4を発し、開墾した田地の私有を永年
にわたって保障した。この法は、政府の掌握する田地を増加させることにより土
地支配の強化をはかる積極的な政策であったが、その一方で貴族・寺院や地方豪
族たちの私有地拡大を進めることになった。とくに東大寺などの大寺院は、広大
な原野を独占し、国司や郡司の協力のもとに、付近の農民や浮浪人らを使用して
灌漑施設をつくり、大規模な原野の開墾をおこなった⁽⁵⁾。

農民には、富裕になるものと貧困化するものとが現われた。困窮した農民の中
には、口分田を捨てて戸籍に登録された地を離れて他国に浮浪したり、都の造営
工事現場などから逃亡して、地方豪族などのもとに身を寄せるものも増えた。一
方、有力農民の中にも、経営を拡大するために浮浪人となったり、勝手に
5となったり、貴族の従者となって、税負担を逃れるものがあった。8世
紀の末には、調・庸の品質の悪化や滞納が多くなり、また兵士の弱体化が進ん
で、国家の財政や軍制にも大きな影響が出るようになった。

問1 文章中の空欄 ～ にもっとも適切なものを、下の解答群からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| [1] 軍団 | [2] 雑徭 | [3] 僧侶 |
| [4] 荘園整理令 | [5] 貴族 | [6] 三世一身法 |
| [7] 木製 | [8] 墾田永年私財法 | [9] 鉄製 |
| [10] 官吏 | | |

問2 下線部(1)について、平地式の住居はどの地域から全国に普及していったか。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| [1] 東日本 | [2] 東北地方 | [3] 西日本 | [4] 北海道 |
|---------|----------|---------|---------|

問3 下線部(2)について、この土地を何というか。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| [1] 均田 | [2] 乗田 | [3] 公営田 | [4] 勅使田 |
|--------|--------|---------|---------|

問4 下線部(3)について、このようなことを何というか。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| [1] 受領 | [2] 賃租 | [3] 田堵 | [4] 公出挙 |
|--------|--------|--------|---------|

問5 下線部(4)について、税の増収をはかるために実施された政策は何か。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 9

— 解答群 —

- [1] 荘園整理令 [2] 惣領制 [3] 百万町歩の開墾計画
[4] 貫高制

問6 下線部(5)について、このような開墾地を何というか。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 10

— 解答群 —

- [1] 寄進地系荘園 [2] 初期荘園 [3] 蔵入地 [4] 天領

II

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

京都の朝廷では鎌倉幕府の成立と勢力の拡大に直面して、これまでの朝廷の政治の立直しがおこなわれた。その中心にあったのが後鳥羽上皇である。上皇は、分散していた広大な皇室領の荘園を手中におさめるとともに、新たに [11] の武士において軍事力の増強をはかるなど院政を強化し、幕府と対決して朝廷の勢力を挽回する動きを強めた。

その中で、上皇との連携をはかっていた将軍実朝が頼家の遺児 [12] に暗殺される事件がおきると、これをきっかけに、朝幕関係が不安定になり⁽¹⁾、[13] 年、上皇は、畿内・西国の武士や大寺院の僧兵、さらに北条氏の勢力増大に反発する東国武士の一部をも味方に引き入れて、ついに北条 [14] 追討の兵をあげた。

しかし、上皇側の期待に反して、東国武士の大多数は源頼朝の妻であった北条政子の呼びかけに応じて結集し、戦いにのぞんだ。幕府は、[14] の子泰時、弟の [15] らの率いる軍を送り京都を攻めた結果、1カ月ののち、戦いは幕府の圧倒的な勝利に終わり、3上皇を配流した⁽²⁾。これが承久の乱である。

乱後、幕府は皇位の継承に介入するとともに、京都には新たに六波羅探題をおいた⁽³⁾。また、上皇方についた貴族や武士の所領 [16] 余力所を没収し、戦功のあった御家人らをもその地の [17] に任命した。

これによって畿内・西国の荘園・公領にも幕府の力が広くおよぶようになった。朝廷では以後も引き続き幕府の監視下で院政がおこなわれたが、この乱によって、朝廷と幕府との二元的支配の状況は大きくかわり、幕府が優位に立って、皇位の継承や朝廷の政治にも干渉するようになった。

問1 文章中の空欄 [11] ~ [15] にもっとも適切なものを、下の解答群からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | | | |
|--------|--------|----------|----------|---------|
| [1] 北面 | [2] 西面 | [3] 1219 | [4] 1221 | [5] 時政 |
| [6] 公暁 | [7] 義時 | [8] 時房 | [9] 源実朝 | [10] 時頼 |

問2 文章中の空欄 **16** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 500 [2] 1000 [3] 2000 [4] 3000

問3 文章中の空欄 **17** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 守護 [2] 国司 [3] 地頭 [4] 名主

問4 下線部(1)について、藤原将軍と呼ばれる将軍を迎えたがそれは誰か。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 **18**

解答群

- [1] 藤原兼実 [2] 藤原頼経 [3] 藤原良経 [4] 藤原頼嗣

問5 下線部(2)について、配流されていない上皇として、もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 **19**

解答群

- [1] 後嵯峨 [2] 土御門 [3] 順徳 [4] 後鳥羽

問6 下線部(3)について、六波羅探題の役割でないものとして、もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 **20**

解答群

- [1] 朝廷の監視 [2] 税の徴収 [3] 京都内外の警備
[4] 西国の統轄

Ⅲ

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

南北朝時代には、時代の転換期に高まった緊張感を背景に、歴史書や軍記物語などがつくられた。歴史書には、源平争乱以後の歴史を公家の立場から記した [21]、伊勢神道の理論を背景に南朝の立場から皇位継承の道理を説いた北畠親房の [22]、足利氏の政権獲得までの過程を武家の立場から記した [23] などがあり、軍記物語では、南北朝の動乱の全体を描いた大作の [24] がつくられた。

また、「二条河原落書」にみられるように、武家・公家を問わず広く連歌が流行し、能楽も多くの人がとを集めて上演された。茶寄合も各地でおこなわれ、茶の異同を飲みわけて、かけ物を争う勝負ごとの [25] が流行した。

3代将軍足利義満は京都の北山に壮麗な山荘をつくったが、そこに建てられた金閣の建築様式が、伝統的な [26] と [27] を折衷したものであり、時代の特徴をよく表わしている。この時代の文化を北山文化と呼んでいる。

鎌倉時代、武家社会の上層に広まった [28] 宗は、夢窓疎石が将軍 [29] の厚い帰依を受けて以来、幕府の保護のもとでおおいに栄えた。[30] の官寺の制になった五山・十刹の制も義満の時代にほぼ完成した。

問1 文章中の空欄 [21] ～ [25] にもっとも適切なものを、下の解答群からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

解答群

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| [1] 『今鏡』 | [2] 『梅松論』 | [3] わび茶 |
| [4] 『公事根源』 | [5] 『樵談治要』 | [6] 闘茶 |
| [7] 『神皇正統記』 | [8] 『曾我物語』 | [9] 『増鏡』 |
| [10] 『太平記』 | | |

問2 文章中の空欄 **26** ～ **30** にもっとも適切なものを，下の解答群からそれぞれ一つずつ選び，番号で答えなさい。

解答群

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| [1] 禅宗様 | [2] 北宋 | [3] 足利義教 | [4] 臨濟 |
| [5] 書院造 | [6] 曹洞 | [7] 足利尊氏 | [8] 寢殿造風 |
| [9] 和様 | [10] 南宋 | | |

IV

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

幕藩体制の安定とともに儒学のもつ意義は増大した。社会における人びとの役割（職分）を説き、上下の身分秩序を重んじ、「忠孝・礼儀」を尊ぶ考え方がのぞまれたからである。とくに朱子学の思想は大義名分論を基礎に、封建社会を維持するための教学として幕府や藩に重んじられた。

戦国時代に土佐で開かれたとされ、谷時中に受け継がれた南学（海南学派）も朱子学の一派で、その系統から [31] ・野中兼山らが出た。特に [31] は神道を儒教流に解釈して垂加神道を説いた。

朱子学に対し中江藤樹や門人の [32] らは、明の王陽明が始めた陽明学を学んだが、知行合一の立場で現実を批判してその矛盾を改めようとするなど革新性をもっていったために、幕府から警戒された。

一方、外来の儒学にあきたらず、孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派が、山鹿素行や [33] らによって始められた。[33] らの古学を受け継いだ [34] は政治・経済にも関心を示し、都市の膨張をおさえ、武士の土着が必要であると説いて、統治の具体策を説く経世論に道を開いた。

[34] は柳沢吉保や将軍徳川吉宗に用いられ、[35] では政治顧問の役割を果たした。またその弟子 [36] は、経世論を発展させ、武士も商業をおこない、専売制度によって利益を上げるべきだと主張した。

儒学の発達には、合理的で現実的な考え方という点で他の学問にも大きな影響を与えた。[37] は『読史余論』を著し、朝廷や武家政権の推移を段階的に時代区分して独自の歴史の見方を展開した。

自然科学では、本草学（博物学）や農学・医学など実用的な学問が発達し、[38] の『大和本草』、宮崎安貞の『農業全書』などが広く利用された。また、測量や商売取引などの必要から和算が発達し、[39] は筆算代数式とその計算法や円周率計算などですぐれた研究をした。天文・暦学で [40] は京都の土御門家に入門のうえ、暦の誤差を修正して日本独自の暦をつくった。

問1 文章中の空欄 [31] にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

[1] 林羅山

[2] 山崎闇斎

[3] 木下順庵

[4] 林鳳岡

問2 文章中の空欄 **32** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 熊沢蕃山 [2] 朱舜水 [3] 藤原惺窩 [4] 山片蟠桃

問3 文章中の空欄 **33** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 松永尺五 [2] 富永仲基 [3] 石田梅岩 [4] 伊藤仁斎

問4 文章中の空欄 **34** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 古賀精里 [2] 岡田寒泉 [3] 雨森芳洲 [4] 荻生徂徠

問5 文章中の空欄 **35** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 天保の改革 [2] 正徳の政治 [3] 寛政の改革
[4] 享保の改革

問6 文章中の空欄 **36** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 太宰春台 [2] 尾藤二洲 [3] 広瀬淡窓 [4] 佐藤一斎

問7 文章中の空欄 **37** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 室鳩巢 [2] 中井竹山 [3] 新井白石 [4] 伊藤東涯

問8 文章中の空欄 **38** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 青木昆陽 [2] 貝原益軒 [3] 野呂元丈 [4] 西川如見

問9 文章中の空欄 **39** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 関孝和 [2] 稲生若水 [3] 吉田光由 [4] 稲村三伯

問10 文章中の空欄 **40** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 平賀源内 [2] 大槻玄沢 [3] 宇田川玄随
[4] 渋川春海

V

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

関東軍は参謀の [41] を中心として、1931（昭和6）年9月18日、[42] 郊外で南満州鉄道の線路を爆破し⁽¹⁾、これを中国軍のしわざとして軍事行動を開始して [43] が始まった。第2次 [44] 内閣（立憲民政党）は不拡大方針を声明したが、世論・マスコミは戦争熱に浮かされたかのように軍の行動を支持した。関東軍は、全満州を軍事的制圧下におくべく戦線を拡大したため、事態の収拾に自信を失った [44] 内閣は総辞職した。

かわって同1931（昭和6）年12月に立憲政友会総裁 [45] が組閣し、中国との直接交渉をめざしたが、翌1932（昭和7）年になると、関東軍は満州の主要地域を占領し、3月には [46] 最後の皇帝であった [47] を執政として、満洲国の建国を宣言させた。アメリカは日本の一連の行動に対して不承認宣言を発し、中国からの訴えと日本の提案で、[48] 理事会は事実調査のために [49] を団長とする調査団を現地と日中両国に派遣することにした。

問1 文章中の空欄 [41] にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

— 解答群 —

- [1] 井上日召 [2] 石原莞爾 [3] 宇垣一成 [4] 北一輝

問2 文章中の空欄 [42] にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

— 解答群 —

- [1] 奉天 [2] 北京 [3] ハルビン [4] 旅順

問3 文章中の空欄 **43** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 日中戦争 [2] 上海事変 [3] 満州事変
[4] 太平洋戦争

問4 文章中の空欄 **44** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 若槻礼次郎 [2] 浜口雄幸 [3] 斎藤実 [4] 広田弘毅

問5 文章中の空欄 **45** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 近衛文麿 [2] 東条英機 [3] 犬養毅 [4] 高橋是清

問6 文章中の空欄 **46** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

解答群

- [1] 清朝 [2] 明朝 [3] 中華民国 [4] 元朝

問7 文章中の空欄 **47** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

—解答群—

- [1] 溥儀 [2] 張作霖 [3] 李鴻章 [4] 蔣介石

問8 文章中の空欄 **48** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

—解答群—

- [1] 北大西洋条約機構 [2] 国際連合 [3] ジュネーブ会議
[4] 国際連盟

問9 文章中の空欄 **49** にもっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。

—解答群—

- [1] ランシング [2] リットン [3] ドッジ [4] ウイッテ

問10 下線部(1)について、この事件を何というか。もっとも適切なものを、下の解答群から一つ選び、番号で答えなさい。 **50**

—解答群—

- [1] 盧溝橋事件 [2] 血盟団事件 [3] 西安事件
[4] 柳条湖事件